

# 《辰野町》 辰野町ボランティアセンター

## 〔センターの基本事項〕

所在地	〒399-0426 上伊那郡辰野町宮木城前2674-1			
電話 FAX	0266-41-5558	0266-41-3922		
電子メール	<a href="mailto:volunteer@town.tatsuno.nagano.jp">volunteer@town.tatsuno.nagano.jp</a>			
HPアドレス	<a href="http://www.lcv.ne.jp/~tvchp/">http://www.lcv.ne.jp/~tvchp/</a>			
職員数	正規	1名	嘱託	—
	臨時	1名	その他	—
開所日と時間	平日 9:30～18:00 土日祝を除く			
情報誌	ボランティア情報誌 福寿草			
来所者数	年間 6,605名			



## 〔センターの運営方針・指針等〕

ボランティア・市民活動相互の連携を密にし、ボランティア・市民活動の推進と資質の向上を図ると共に、地域住民のボランティア・市民活動に対する理解と感心を高めることを目的としています。

## 〔センターの拠点整備〕

活動場所の提供	<input type="radio"/>	会場使用の際は玄関（屋外）に設置されている予約ボードへ各々記入する。 費用：11月～3月は冬季使用料として1部屋1時間100円、対象者：VC登録団体
フリースペースの設置	<input type="radio"/>	ロビー（テーブル・イス・情報誌・ちょこボラグッズ（古切手の整理）・オリジナルグッズの販売コーナー・エコキャップの収集等）
資機材等の貸出	<input type="radio"/>	コピー機（1枚10円、印刷機（製版70円・インク代100枚毎30円）、プロジェクター・スクリーン、CDラジカセ、コードリール、廃油石鹸作成用攪拌機、テント、アルミ大釜等（無料）、対象者：特に限定せず
福祉体験器具等の貸出	<input type="radio"/>	高齢者疑似体験セット（うらしま太郎2・つくし君5）、点字板（40）、アイマスク（30） 無料、対象者：特に限定せず
登録グループの専用ポストの設置	<input type="radio"/>	
情報掲示板・チラシ提供スペースの設置	<input type="radio"/>	

## 〔ボランティアセンター運営委員会〕

組織の有無	有	規約	有
名称	辰野ボランティア・市民活動ネットワーク運営委員会		
委員構成	ボランティアグループ、民生児童委員、区長経験者、見識者、行政よりまちづくり政策課・教育委員会から1名ずつ 平成21-22年度：20名+事務局3名 平成23-24年度：15名+事務局3名（予定）		
事業への関わり	・運営委員独自事業 総務部会・・・ボランティア活動振興事業助成金審査会、辰野ボランティア・市民活動ネットワーク総会、秋まつり、協働のまちづくりをすすめるボランティア懇談会、城前の村・長寿化プロジェクト 管理・資金部会・・・利用者団体連絡会、ボランティアセンター大掃除、備品台帳の整備 研修・広報部会・・・運営委員視察研修、グループ紹介冊子作成、ボランティア情報ボードの管理		
工夫点	・色々な立場から町内におけるボランティア活動の推進に関わってもらっている。 ・会議内でPG（ファシリテーショングラフィック）を活用し、記録として保存もしている。		
課題点	・運営委員会内で発言をする人が固定化してしまっている。個々に考えている事が引き出せるような会議の運営になっていない。脱・四角い会議。 ・運営委員会としての事業は充実しているが、「ネットワーク」として考えると、もっと検討の余地あり。 ・実際に活動している団体のニーズなどが十分に把握できていない。		

## 〔ボランティア連絡協議会〕

組織の有無	無	規約	無
名称	—		
協議会構成	—		
工夫点	—		
課題点	—		

## 〔財源〕

人 件 費	独自財源	<input type="radio"/>	社協
	共同募金	<input type="radio"/>	
	委託料・補助金	<input type="radio"/>	行政からの補助金
	民間助成金	<input type="radio"/>	
	その他	<input type="radio"/>	

事業費


事 業 費	独自財源	<input type="radio"/>	
	共同募金	<input type="radio"/>	
	委託料・補助金	<input type="radio"/>	
	民間助成金	<input type="radio"/>	
	その他	<input type="radio"/>	





## ボランティアセンターの重点事業について

事業名	城前のサクラ 長寿化プロジェクト
目的	<p>辰野町の主要町道「城前線」にはソメイヨシノの街路樹が緑豊かに、周辺の景観と一体となって人々の暮らしに溶け込んでいます。</p> <p>このサクラ並木は昭和 35 年北朝鮮に帰られる皆さんが記念として植えられたもので、春には桜花爛漫、人々の気持ちを和らげています。</p> <p>一時は手入れもされず枯れたり傷ついていましたが、植樹から数年後この状態を見かねた辰野中学校の生徒が「帰国者の友情を無駄にせず自分たちの手で守り育てていこう」と緑化委員会を組織して除草などを行いました。現在では、辰野中学校清掃委員会を中心として、春・秋の桜の花びらやがく、葉の落ちる時期に清掃活動を行っております。</p> <p>さらに、沿線の城前町内会では、桜や街路樹の手入れを定期的に行っています。時期に合わせて作業をしています。</p> <p>近年この桜も老木となり、幹には苔が張り付き呼吸が困難な様子となっています。しかし、日頃の管理の中では苔落としまでなかなか手が回らない状況です。</p> <p>今回のプロジェクトにより下記の 4 点についての事業を行います。</p> <p>①昨年に引き続いて桜の幹に付いた苔を落とし、長寿命化を行います。</p> <p>②桜守・地元造園業者を講師に迎えての「桜守隊」の養成講座を実施し、「城前の桜」の開花状況・病害虫の発生状況の点検などの定期的な観察を行います。</p> <p>③地元住民の深刻な問題となっている落ち葉を回収し、たい肥化を行い、地元農産者への提供を行います。</p> <p>④現在の桜を後世へ継承していく為の接木などによる苗木の育成を行います。</p> <p>ソメイヨシノの樹齢は 60 年と言われますが、適正な手入れによってさらに長く樹勢を保つことができると考えます。多くの皆さんの参加による苔落としや苗木の育成作業を通して、最初に植樹された皆さんの思いを振り返ってみたいと思います。</p> <p>「城前線のサクラ並木」は町の文化財にも指定されています。</p> <p>辰野ボランティア・市民活動ネットワークの事務局のある辰野ボランティアセンターもこの並木の沿線にあります。</p> <p>(平成 23 年度実施に向けての目標)</p>
開催頻度	下記内容参照
内容	<p>平成 22 年</p> <p>9 月 5 日(日) :</p> <p>「N・仲間と T・つながる K・交流会(辰野ボランティア・市民活動ネットワーク総会)」内で「～城前の桜が守られてきた歴史を知ろう～」として、当時の中学生で桜の保護活動を始めるきっかけとなった方、城前の地元に長年桜と共に生活をしてこられた方に当時の様子や色々な想いをお聞きしました。</p> <p>10 月 16 日(土) :</p> <p>桜守の話・城前の桜調査実施。高遠城址公園などで桜守として活動中の稲辺謙次郎さんに活動の様子や桜の手入れの方法などについて、講演をしていただきました。その後、実際に城前の桜の状況を見て、苔落としの際のポイントなどのアドバイスを頂きました。</p> <p>11 月 21 日(日) :</p> <p>桜のコケ落としを実施。当日は、一般ボランティア・地元中学生・地域住民・小学生野球チームとその保護者など 120 名の参加があり、苔落としや枯れ枝の除去をおこないました。</p> <p>2 月 4 日(金) :</p> <p>これまでの取り組みを通して、地元住民の皆さんの声をもっと活動に反映させていきたいという想いから、「協働のまちづくりをすすめるボランティア懇談会～城前の桜・それぞれの立場から～」と題し、地元住民・地元写真同好会メンバー・一般ボランティア・議員・行政職員などが参加し、現状や今後に向けての願いなどを語りあいました。</p>

対象者	VC 登録ボランティア団体、町内小・中学校、一般町民、沿線企業など
企画のポイント 事業成果	<p>①苔落とし作業によって、サクラの樹勢が良くなり延命の確保につながります。樹勢を保つ方法はたくさんありますが、苔落としは誰でもができることのひとつです。</p> <p>②「桜守隊」の養成講座では、桜の剪定方法や病害虫の早期発見に対する知識を習得し、城前の桜だけでなく、町内の多くにある桜の保護・管理に役立ちます。</p> <p>③地域住民や辰野中学校生徒との協働作業による世代間交流の中、桜街路樹の保護の気持ちが醸成されます。</p> <p>④町文化財の歴史と価値の再確認が見込まれます。</p>
参加者の声や その後の動き など	<p>・もっとこの活動を町内に情報発信していけばよいのでは。</p> <p>・街路樹の問題は「城前の桜」だけではないので、ここを切り口に全町的な活動へ発展していくことを願います。</p> <p>などの声が聞かれました。</p> <p>この事業は長野県地域発元気づくり支援金事業を活用して実施しました。平成 23 年度についても、同じ支援金を活用して下記の計画で取り組みを進めていきます。</p> <p>平成 23 年 5 月～平成 24 年 1 月</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① 事業推進計画の検討・確認・準備</li> <li>② 「桜守隊」養成講座実施（5 月～） 併せて、アメシロの卵・幼虫の駆除に関する実習</li> <li>③ 桜の苗木の育成（6 月～）</li> <li>④ 落ち葉のたい肥化（9 月～）</li> <li>⑤ 桜の苔落とし・天狗巣病・枯れ枝除去作業（11 月）</li> <li>⑥ 評価・整理・報告（平成 24 年 1 月）</li> </ol>
事業の様子	
<p style="text-align: center;">10 月 16 日（土） 桜守講演会・城前の桜調査</p> 	<p style="text-align: center;">11 月 21 日（日） 城前の桜コケ落とし</p> 